

授業概要

7月22日(水)

2時限 10:40 ~ 12:10

科目名	担当教員	概要
仕事のための基礎数理 1	松岡東香	小・中学生レベルの算数/数学を土台に、企業での業務に必要な数理解析法について基礎から講義する。簡単な計算演習を行う中で、所得分布、人口統計、金利変動、携帯電話料金プラン、地震と地殻変動、気温変化と桜前線、体格と運動能力など、具体的な数値データを数多く採りあげる。演習を通し、経済・商業分野の関数・統計ならびに自然科学分野のデータ処理などを学び、“仕事に使える”基礎数学力の習得を目指す。
インターネット英語	宮尾真理子	英語の学習においてインターネットは主に2つの意味を持っている。(1) 英語の学習に、英語教材の宝庫であるインターネットというメディアを活用することができる。(2) 英語でのコミュニケーションの発信の場として、インターネットを利用することができる。まずは、インターネット上の様々な英語教材を英語学習に取り入れながら各自の学習スタイルにあった学習方法を探す。例として、ESL/EFL学習者向けのサイトの活用や、YouTubeなどの学習者向けではないが大いに英語の学習に役立つサイトを利用し、生の英語を学ぶ。また、インターネット上での検索活動を通し、情報スキルや問題解決力も身につくようにする。The actual class activities are provided in the class activity plan (授業計画) below.
大衆文化論	木村卓司	アメリカ合衆国の大衆文化(ポピュラー・カルチャー)ならびに1960年代にそのアンチテーゼとして登場した対抗文化(カウンター・カルチャー)について、に1950年代と60年代という対照的な時代背景を比較考察しながら概説する。その際、文化の主たる担い手である「大人」と「若者」の関係の変化や社会情勢にも着目し、そこで生み出された様々な文化アウトプット(文学、映画、音楽、風俗など)も適宜紹介してゆく予定である。
アニメーション基礎	野田美波子	重力にのった動き、キャラクターをつけた人間の動き、メタモルフォーゼなど、アニメーション作画の基礎をマスターする。複数あるアニメーション制作のセクションの一つであり、重要な役割を持つ作画の基礎を学ぶ。Adobe AfterEffectsを使用する。
メディア編集	石田 収	文章を書くことになれる。いい文章の書き方をマスターする。エントリーシートが書けるようにする。自己表現力をつける。言語運用力をつける。
世界遺産 A	小松 進	世界遺産は地球と人類の歩みが刻み込まれた歴史的記念碑である。とりわけその文化遺産は世界各地で繰り広げられたさまざまな文明の精華が凝縮し結晶化されたもので、それぞれの遺産は人類が営んだ諸文明の特質を読み解く最良の手がかりである。こうした文明読解の手段であるばかりでなく、世界遺産は今日観光の目玉としても注目を集めている。本講義では世界遺産の基礎知識を身につけるとともに、映像でさまざまな世界遺産を紹介しながら、人類文化のたどった歴史的軌跡への理解を深めていく。
現代社会と地域文化	古家晴美	食べてもいないトウモロコシの成分が毛髪から検出されたのはどうしてか、鶏肉より安いビーフハンバーガーが食べられるのはどうしてか。映像を通して、現代社会における「食」の最前線を紹介する。DVDをトピックごとに一時停止させ、要点を板書して解説するので、映像が意味するものを深く理解することができる。
ビジュアルライジングプログラミング	高藤清美	プログラミングによる情報表現の具体例を知り、実際に様々な情報を使ったプログラミングによるビジュアル表現をおこなうための知識、技能を修得する。本授業では、Processing言語をプログラミングツールとして用いる。

3時限 13:00 ~ 14:30

科目名	担当教員	概要
政治の基礎	木村卓司	政治学の基本概念である政治制度、政治参加、政治変動、政治体制、政治権力などについて、日本とアメリカ合衆国の事例も適宜紹介しながら概説する。また近年注目を集めている圧力団体、利益団体、世論、メディアなどの主要な政府外アクターとの関係についてもあわせて考察する予定。一般教養としての政治に関する基礎知識を身につけるだけでなく、政権交代を経験した日本政治を見る視点もあわせて養っていききたい。
コミュニケーション英文法	宮尾真理子	授業では、Living Grammarのテキストを使い、基礎的な文法事項を整理・確認しながら、コミュニケーションに役立つ英語での情報発信能力を養成する。各ユニットは、reading, listening, speaking, writingの4技能をカバーしながら、分法の知識を理解するとともに、実際のコミュニケーションに使えるようになっている。The detailed class activities are listed in the class activity plan (授業計画) below.
ビジネスコミュニケーション1	木下知己	ビジネス上において、ビジネスマンに要求されるコミュニケーション手法の種類と性質を講義する。ビジネス社会の対内業務で具体的ビジネス・シーンを想定し、コミュニケーション対応方を学び、ビジネスコミュニケーションのスキルと能力向上をめざす。

4時限 14:40 ~ 16:10

科目名	担当教員	概要
経営の基礎	木下知己	民間企業、国・地方自治体、各種機関、団体等における経営の基本的考え方と応用及び経営者の視点について学ぶ。経営の具体的課題と問題解決に向けての対応策、今後の展開方法等について事例中心に講義する。
経営戦略	岩田隆一	基礎的な経営戦略の考え方と知識を習得する。企業の置かれた状況に適した経営戦略(特に他社との差別化戦略)の基礎理論を学習する。
国際社会と文化 A	小松 進	世界各地で個別に花開いたさまざまな文明を結びつけ、それらを一つの国際社会へとまとめ上げるきっかけをつくったのは、ヨーロッパ諸国の海外進出であった。授業では、国際社会の形成に大きな役割を果たしたこのヨーロッパの歴史を取り上げる。ヨーロッパ世界は、いつ、どこで、いかにして形成されたのか。それはそもそもいかなる特質をもつ世界で、近代に向けてどのように変貌して行ったのか。授業では、こうした問題を検討する。
ディスカッション&プレゼンテーションⅠA	木下知己	前半はビデオなどを用いて、比較的短い英語を聞いたり、読んだりしたあと、それについてディスカッションする授業。後半は比較的長い英語を聞いたり、読んだりしたあと、それについてディスカッションをする。健康問題、人間関係、社会問題、生活様式などについて、語彙の説明以外はすべて英語で行われる。ディスカッションに必要な語彙の増強も同時に行う。(コミュニケーション能力)
フィジカルコンピューティング1	高藤清美	目的に応じたマイクロプロセッサによる制御プログラムの作成法を学ぶ。マイクロプロセッサを搭載したモデル装置(Arduino互換ボード)を用い、基本的なデジタル入出力プログラム、アナログ入出力プログラミング、各種の周辺装置の制御プログラムなどを例題として取り上げ、基本的なセンサーやアクチュエータを用いて、これらを制御するためのプログラムを作成しながら各種のプログラミング手法を講義する。なお、授業で使用するモデル装置(Arduino互換ボード)は各自が組み立てる。